

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成29年度第2回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成29年10月12日(木) 18:00~19:30		
場所	小野田保健センター		
出席者	小野田医師会	川端章弘	(会長)
	厚狭郡医師会	中根比呂志	(委員)
	小野田歯科医師会	平木雄三郎	(委員)
	厚狭歯科医師会	山崎哲朗	(委員)
	山陽小野田薬剤師会	松澤進	(委員)
	山陽小野田市ふるさとづくり協議会	石川宜信	(委員)
	山陽小野田市老人クラブ連合会	平中政明	(副会長)
	山陽小野田市連合女性会	井上幸子	(委員)
	山陽小野田市母子保健推進協議会	吉田由美子	(委員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢幸子	(委員)
	山口県看護協会小野田支部	井上孝子	(委員)
	山口県栄養士会宇部地域専門部会	藤井紘美	(委員)
	山口県歯科衛生士会小野田支部	藤本文子	(委員)
	山陽小野田市社会福祉協議会	沖野浩	(委員)
	一般公募	曾瀬護	(委員)
	一般公募	福田順子	(委員)
	(出席者数 16人)		
欠席者	山陽小野田市小・中学校PTA連合会	政田修一	(委員)
	山口宇部農業協同組合	相本まゆみ	(委員)
	山口県歯科衛生士会小野田支部	守田節子	(委員)
	(欠席者数 3人)		
オブザーバー	山口県宇部健康福祉センター地域保健班主査 田村雅子		
事務局	健康福祉部長 河合久雄	健康増進課長	岩佐清彦
	健康増進課技監 河野静恵	母子保健係係長	大海弘美
	成人保健係係長 岡手優子	食育連携室室長	加藤諭香江

事 議 委	務 局 長 員	1. 健康福祉部長あいさつ
		2. 新委員紹介
		3. 議事 (1) 健康づくり計画基礎調査について 健康づくり計画基礎調査についての説明（資料1） 意見、質問等ないか。 がん検診を受けない理由を尋ねているように捉えられるが、一般健診は受けない理由を聞かないのか。まず一般健診を受けて、がん検診を受けるといふ思いがあるが、それぞれに理由を聞いた方がよいのではないか。また、受けない理由を1つにせず複数回答でもよいのではないか。
事 委	務 局 員	持ち帰って検討したい。 調査の回収率が40%を想定しているということだが、回収できるのか。無作為の対象者に直接郵送する前に広報などで啓発することで、調査の協力が得られ、回収率が上がるのではないか。
		事務局員 広報の活用も含め啓発していきたい。 高齢者のニーズ調査など市の他の調査の回収率はどうか。横のつながりを含めて参考にさせていただきたい。
事 委 事	務 局 員	市の他の調査の回収率は、おおよそ40%だと把握している。 調査項目はどのように検討されたのか。
		事務局員 国の第2次健康日本21の数値目標等や県の健康づくり意識調査を参考にしている。 結果の公表の予定はあるのか。
委 事 委	務 局 員	健康づくり計画にも明記するので計画が完成したら、計画の周知と併せて公表したいと考えている。 意識調査の実施、結果についても広報を活用して順次啓発するとよいのではないか。
		事務局員 検討したい。 すこやか山陽小野田には、「健康診査」、意識調査では、「一般健診」、「健康診断」という言葉になっているが、統一した方がよいのではないか。
事 委 議	務 局 長	県の意識調査とも確認して修正したい。 がん検診はいくつかあるが、どのがん検診のことを尋ねているのか。人によって年齢など対象となる検診が違ふと思うが、すべて受けるということなのか。若い人など対象でないがん検診は、個人実費で受けてほしいということなのか。
		事務局員 子宮がん検診は20歳から対象である。市のがん検診としては、20代30代は対象となるがん検診は少ないが、がん検診を受けなくていいかというところではない。市のがん検診だけでなく、若い世代も含めて、がん検診の意識について実態を確認したいと考えている。 設問数が多いように感じるがどうか。
委	員	

事務局	設問数は増えているが、健康に関する各分野を網羅したため、必要な設問だと考えている。
委員	広報での啓発は調査の郵送前がふさわしいと思うが、間に合うのか。
事務局	掲載する方向で調査の実施日程も含めて努力し、検討したい。
事務局	広報健康だよりにぜひ掲載してほしい。
事務局	広報担当課と調整したい。
事務局	(2) 食育推進計画基礎調査について
議長	食育推進計画基礎調査についての説明(資料2)
委員	意見、質問等ないか。
事務局	若い母親たちの食育への意識が欠落している。学校に通う保護者に直接的に調査を依頼して実態を把握してはどうか。
事務局	子育て世代への保護者への食育の啓発はこれまで以上に実施していきたいと考えている。
議長	今回の調査は、1次計画の最終評価も兼ねているため過去に実施した2回の調査と同様の方法で依頼をする予定である。保育園の保護者や企業などに協力をお願いし、働き盛りについて実態を把握したいと考えている。子育て世代はそこと重なっており、含まれているということで理解していただきたい。
事務局	行事食についての設問があるが、これはどういった理由があるのか。
事務局	日本の食文化の伝承について実態を把握したいと考えている。家族構成が多様化し、家庭の中だけでは、食文化の伝統が引き継がれなくなっている現状もある。これまでの調査結果と比較し、実態を把握したうえで、どのような方法で事業展開するべきか検討したい。
委員	地区組織など地域の方を活用して啓発してはどうか。
事務局	すでに、食生活改善推進員や母子保健推進員など積極的に活動していただいている。地域の力を十分発揮できる仕組みをつくることも行政の役割だと考えている。
事務局	(3) 第8回SOS健康フェスタについて
委員	第8回SOS健康フェスタについての説明
事務局	ブースの開始時間も掲載してほしい。
事務局	追加掲載したい。
委員	共催や協力に社会福祉協議会の名前がないが、ぜひ協力していただき高齢者にも活躍してもらってはどうか。
事務局	すでに健康づくり推進協議会や健康・情報ステーションとして協力の中に含まれている。
委員	今年度も社会福祉協議会としてブースを出展する予定である。
委員	食生活改善推進員や女性会がこういったイベントで郷土料理など啓発してはどうか。

事務局	<p>すでに、さまざまな場面で啓発していただいているが、事務局としてもしっかりバックアップしていきたい。</p>
委員	<p>元気のりのり汁は、地産地消をテーマとし、旬の食材や地元の食材の啓発も行なっている。</p>
委員	<p>文字が多くて見づらいのではないか。チラシの情報は最小限必要なものだけに絞った方が見やすいのではないか。</p>
事務局	<p>検討し、修正したい。</p>
	<p>(4) その他 特になし。</p>
	<p>4 その他</p>
事務局	<p>次回会議は、平成30年2月22日(木)18:00～、小野田保健センターで開催する。</p>